

平成 29 年度第 1 回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	平成 29 年 5 月 24 日 (水) 13 : 15 ~ 14 : 52			
審 議 場 所	知立市役所 3 階 第 4 会議室			
出 席 者	市 長	教 育 長	蔭 山 委 員	竹 内 委 員
	宇 納 委 員	太 田 委 員		
事 務 局	企画部長 教育部長 企画政策課長 教育庶務課長 学校教育課長 企画政策課担当			
議 題 1	外国人児童生徒について ・ 知立東小学校 ・ 知立南中学校			
司会	<p>定刻となりましたので、只今より平成 29 年度第 1 回総合教育会議を開催します。本日の議題は「外国人児童生徒」についてです。</p> <p>それでは、議事の取り回しは知立市総合教育会議設置要綱第 4 条第 1 項において、市長が議長となり、議事を総理するとありますので、市長にお願いします。よろしくお願ひします。</p>			
議長 (市長)	<p>次第に沿って、議事を進めたいと思います。</p> <p>本日は、「外国人児童生徒について」皆様よりご意見をお聞かせいただきます。</p> <p>今年、知立東小学校の入学式にはじめて出席させていただきました。今年是新入生の 7 割が外国人ということで、関心を持って出席したところ、在校生の歓迎のあいさつで知立東小学校の 1 番いいところは、外国人とたくさん友達になれるところだと言っていました。先生方や地域の皆様方のおかげで非常にいい学校になっていると感じました。さらにいい学校になっていくよう本日は議論できればと考えています。</p> <p>それでは、担当課より説明をお願いします。</p>			
学校教育課長	<p>現在、知立市で日本語教育が必要な児童生徒の状況ですが、多いのは知立東小学校の 172 人、あとは、知立西小学校 16 人、八ツ田小学校 25 人、中学校で見ると知立南中学校の 76 人となっています。</p> <p>そのような状況に対応するための教育委員会の施策ですが、「日本語指導助手の採用」ということで 2 名、知立東小学校と知立南中学校に勤務していただいております。必要に応じて要請があれば、他の学校にも行っていただいております。</p> <p>次に「日本語翻訳者の勤務」についてですが、平成 29 年度は 3 名勤務していただいております。知立東小学校に 2 名、早期適応教室である杜若教室に 1 名勤務していただいております。</p> <p>知立西小学校や八ツ田小学校の指導方法についてですが、基本的には取り出し指導で対応しています。ただ、4 月・5 月については入り込み指導を実施し、様子を見ながら対応しています。</p>			

知立東小学校・知立西小学校・八ツ田小学校・知立南中学校については、愛知県の方から、日本語教育の加配をいただいています。知立東小学校に8名、知立西小学校に1名、八ツ田小学校に1名、知立南中学校に7名の合計17名を加配いただいています。

続いて、知立東小学校の具体的な取り組みについて説明をさせていただきます。在籍児童数の中での外国人児童数についてですが、1年生の割合が多くなっており、全体ですと59.06%となっています。言語別に見ても、多岐に亘っています。

学校だよりとホームページについては、日本語とポルトガルの2つのバージョンを用意しています。

日本語指導が必要な児童への対応についてですが、転入児童には、語彙テストを行い国語と算数のクラス分けを行っています。1年生については、早期適応教室(杜若教室)には入れず、学校に慣れてもらうようにしているそうです。

語彙テスト後のクラス分けは、6年生までの全ての学級で行っており、国語は、全学年2学級を4分割(のぞみ1・のぞみ2・ひかり・こだま)にしています。

また、教科書をそのまま使っても理解できない児童がいますので、原文を噛み砕いたりライト教材を開発しています。

算数については、3分割(のぞみ・ひかり・こだま)で指導しており、算数の習熟度というよりは、日本語の習熟度でクラス分けを行っています。

他には、体育のTTや学生に来てもらい支援をしてもらったりもしています。

知立東小学校が出してきた課題(困っていること)についてですが、18時を過ぎないと保護者に連絡が取れないため、通訳翻訳者に勤務時間の振替で対応してもらっているなどがありました。全体的に見ると、通訳翻訳者を増員してもらいたいという意見や、教員やサポート学生の増員、実物投影機・書画カメラ・タブレットを設置してもらいたいという意見がありました。

続いて、知立南中学校についてですが、進学指導としてのキャリア教育を担っていますので、小学校に比べさらに日本語適応指導の役割は大きくなっています。

中学校の対策としては、個別指導・グループ指導・入り込み指導を中心に行っており、国語・社会の取り出し授業も一人あたり週7時間行っています。

また、平成27年度より、日本語コーディネーター、学年日本語チューター、教科指導フォロワーを置くシステムを構築しております。

知立南中学校が挙げた課題についてですが、日本語教育に関わる人数が多いため共通して指導を行えるような教材開発が必要ですか、日本語指導部会の開催が難しい、知立市共通の支援計画様式ができないか、発達障がい等のために設置している教育支援委員会のようなものを外国籍生徒バージョンでも設置できないかと感じているようです。

議長(市長)

ただいま、学校教育課より説明がありました。
委員の皆さん、ご質問がありますか。

竹内委員	<p>知立東小学校や知立南中学校は、加配職員も多くサポートする体制が整っていると思うが、それ以外の学校に入ってくる外国籍児童生徒への対応がどうなっているのか心配である。</p>
学校教育課長	<p>全然、日本語が喋れない児童に関しては、早期適応教室（杜若教室）で約3ヶ月日本の文化や言葉に慣れてもらってから、各学校に入ってもらっています。</p> <p>また、希望のあった日に日本語指導助手を派遣もしておりますし、愛知教育大学のリソースルームと連携しているので、リソースルームの学生を活用しています。</p> <p>しかし、実際問題として、通訳や日本語指導助手のいない学校で多々困る事態があることにはあると思います。</p>
竹内委員	<p>早期適応教室（杜若教室）は、知立東小学校にしかないですよ。</p>
学校教育課長	<p>そのとおりです。遠いところから通ってもらっている子もいます。</p>
竹内委員	<p>そうなると、親が忙しくなり通えなくなる子も出てくると思うので、心配である。</p>
竹内委員	<p>早期適応教室（杜若教室）の3ヶ月だけでは、まったく日本語の喋れない児童には、不十分だと思うのですが、知立東小学校以外の学校では、どのように対応しているのですか。</p>
学校教育課長	<p>対応できる範囲で、対応している状態です。</p>
竹内委員	<p>知立東小学校や知立南中学校に転校すれば、手厚く指導できるとは言っていないのですか。</p>
学校教育課長	<p>言っていません。</p>
教育長	<p>保護者は希望するため、前までは受入れておりましたが、知立東小学校ばかりに外国籍の児童が集まってきてしまい、先生たちに負担をかけてしまったため、安易に知立東小学校ばかりに集約してもらっては困るという意見が出てきました。</p> <p>そのため、基本的には決められた学区に通ってもらい、特別な事情がある場合だけ対応するという形をとっております。</p>
蔭山委員	<p>知立市どこの学校に通っても同じサービスが受入れられるのが理想ですね。</p>
教育長	<p>早期適応教室（杜若教室）を3ヶ月にしているのは、最低限の日本語を教えるためであり、これを6ヶ月や1年に延ばしてもあまり効果はないです。日本語を使わざるをえない環境で覚えていくほうが、日本語習得が早いのではないかと考えています。</p>

教育長	また、多国籍かつ大勢の外国籍生徒が入ってくる中で、1人ばかり手厚くサポートできる体制でないという理由もあります。
蔭山委員	早期適応教室（杜若教室）に入っている間は、日本人児童とは完璧に遮断されるのですか。
学校教育課長	されます。
蔭山委員	言語だけでなく、生活を教えてくれる人が大切だと思う。
教育長	早期適応教室（杜若教室）では、日本語を教えるだけでなく、掃除や給食、トイレ、チャイムなど日本人にとっては当たり前の学校生活を教えています。
蔭山委員	早期適応教室（杜若教室）で利用するテキストは確立されているのですか。
教育長	基本的には、文部科学省が指定している教材を利用しています。
太田委員	先月、知立東小学校に視察にいき、早期適応教室（杜若教室）に入って2週間の児童を見てきましたが、もうこんなに覚えたのかと驚くくらい進んでいました。
蔭山委員	知立南中学校の言っている、外国籍生徒対応のための教育支援委員会のようなものについては、本当にいるのでしょうか。いるとすればどういう検討をするのでしょうか。 これだけプログラムができあがっている状態で、何を検討するのでしょうか。
学校教育課長	知立南中学校が作ってきたノウハウを他の学校に共有したいという意味合いだと思います。
蔭山委員	それは、教育支援委員会で行っている役割とは違いますね。
学校教育課長	例が相応しくありませんでした。
教育長	大きな街だと、教育センターという建物の中にいろいろな資料が集積されています。知立市は、そのようなものではなく、シーホース（校務支援システム）を使って教材の共有ができればと思います。今回、知立南中学校から出てきた意見は、教材の共有以外に課題や問題について、直接話し合う場があればいいという意味合いだと思います。
蔭山委員	ポルトガル語だけではなく、モンゴル語、ベトナム語、ネパール語が母国語の児童生徒がいるようだが、対応できているのでしょうか。

学校教育課長	現状としては、ポルトガル語以外にタガログ語の通訳を早期適応教室（杜若教室）に配置しているだけです。
蔭山委員	それ以外の生徒はどうしているのか。
教育長	早期適応教室（杜若教室）では、基本的に日本語で日本語を教える指導方法を利用しています。
蔭山委員	その路線でいくのですか。
教育長	知立東小学校だけでも、日本語を含めて13言語の生徒がいます。全て対応するのは不可能だと思います。また、それは公立小学校でやるべきことなのか議論が必要だと思います。
蔭山委員	しゃべれる言語によって待遇に差が生じるのはいいのですか。
教育長	日本人の親は、わが子を小中学校に通わせる義務がありますが、外国籍の親にはそのような義務はありません。申出があれば公立学校に入学できますよという仕組みです。
蔭山委員	日本国籍があつて日本語ができない児童生徒はどうなるのですか。
教育長	加配の先生は、日本国籍で日本語指導が必要な児童生徒についています。
蔭山委員	日本国籍があるかないかで対応が違うのですね。
教育長	そのとおりです。
太田委員	知立東小学校以外の学校は、保護者へのお便りやメールをどのように出しているのですか。
学校教育課長	日本語のみだと思います。子どもが通訳になっています。
太田委員	三者面談など大切なお知らせはどうしているのですか。
学校教育課長	やれる範囲で対応しており、今年度も日本語指導助手の派遣依頼が何件かあります。
蔭山委員	親同士のつながりはどうですか。中には日本語がとても上手な外国籍の家族があると思うのですが。

学校教育課長	保護者のレベルでは、上手にやっただいていてと思います。教育委員会として積極的に発信はしていません。担任レベルでは、個別に依頼はしていると思います。
蔭山委員	知立東小学校から出ている要望について、何か一つずつでも実現していける可能性はありますか。
議長（市長）	知立市単独でなく、広域で国や県に働きかけを行っていきたいと思います。 知事に現状を認識してもらおうと対応してもらえと思っていますので、教育長に陳情する優先順位を整理してもらいたい。
蔭山委員	刈谷市にはあまり外国籍児童生徒はいないのですか。
学校教育課長	刈谷市よりも、安城市・高浜市の方が多いと思います。
教育長	今後、知立市として外国人を積極的に受入れることや、制限することはないということによろしいですか。
議長（市長）	第6次知立市総合計画においても、積極的に受入れるという姿勢はとっておりません。来るものは拒まずという形です。昭和地区に関しては、コミュニティ維持のため、URに依頼して知立団地の入居方法を先着順から抽選に変更していただきました。 インターナショナルスクールの話がでましたが、知立東小学校をインターナショナルスクールにしてほしいと県に依頼するのはどうですか。
教育長	公立のインターナショナルスクールは聞いたことがありません。
蔭山委員	どこがどのように運営しているものか研究する必要がありますね。
竹内委員	語学学校に通い、ある水準に達したら小学校や中学校に通うというシステムは可能なのでしょうか。
教育長	そのようなシステムは、対象が大人だと思います。
蔭山委員	義務教育では難しいでしょうね。
宇納委員	知立がどのような方向に向かっていくのか、分かれ道になっていると思います。いまではなく、20年30年後の学校をどのようにしていきたいのか議論していただかないと、付け焼刃的な対応しかできない。今回、市長さんのお考えが少しわかりましたので、次にもう少し掘り下げていただくと、具体的な話ができると思いま

宇納委員	す。
議長（市長）	皆様方に意見を聞きつつ、将来的なビジョンは、描いていければと考えています。 一方、現場の方々から出ている意見は待ったなしの課題です。この課題を1つでも2つでも解決していくことは、対処療法になってしまいますが、大切なことだと思います。
議長（市長）	他にご意見はありますか。 (意見なし)
議長（市長）	それでは、最後に事務局から連絡をお願いします。
企画政策課長	次回の総合教育会議は11月9日（木）午後1時15分から市役所3階第1会議室にて行いますのでよろしくお願いいたします。 (終了)